

様式第 2 号の 1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 1-①を用いること。

学校名	東京福祉保育専門学校
設置者名	学校法人サンシャイン学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉専門課程	こども学科	夜・通信	1,170 時間	160 時間	
社会福祉専門課程	経営福祉学科Ⅰ	夜・通信	390 時間	160 時間	
外語ビジネス専門課程	国際 IT 学科Ⅰ	夜・通信	360 時間	160 時間	
外語ビジネス専門課程	国際ビジネス学科Ⅰ	夜・通信	420 時間	160 時間	
社会福祉専門課程	介護福祉士学科	夜・通信	1,522 時間	160 時間	
社会福祉専門課程	経営福祉学科Ⅱ	夜・通信	390 時間	160 時間	
外語ビジネス専門課程	国際 IT 学科Ⅱ	夜・通信	360 時間	160 時間	
外語ビジネス専門課程	国際ビジネス学科Ⅱ	夜・通信	420 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京福祉保育専門学校
設置者名	学校法人サンシャイン学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	人材派遣業	2019/3/29 ～2022/3/28	学校運営、授業内容、就職等に関する知見
非常勤	物流関連サービス	2020/3/29 ～2023/3/28	学校運営、授業内容、就職等に関する知見
非常勤	弁護士	2019/3/29 ～2022/3/28	学校運営、授業内容、就職等に関する知見
非常勤	薬剤師	2020/3/29 ～2023/3/28	学校運営、授業内容、就職等に関する知見
非常勤	自営業	2020/3/29 ～2023/3/28	学校運営、授業内容、就職等に関する知見
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京福祉保育専門学校
設置者名	学校法人サンシャイン学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業開始 1~2 か月前に授業計画書(シラバス)作成に着手し、各科目担当者が作成したものを各学科責任者がチェックし、決定する。</p> <p>公表については、学生に配布しており、閲覧希望者に対して当校の事務室に設置しているものを閲覧可能。</p>	
授業計画書の公表方法	東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則第16条より、学行成績は教育課程の定めるところにより、学年ごとに修了すべき学科目について定期試験を行い、合格者に対して当該学科目を認定する。ただし、実技については、出席状況、課題の達成度合い等に基づき、その総合成績によって単位を認定する。また実習については、学生が個々に実習期間中記入する実習の記録、学内担当者の調査、実習指導者の評価報告書に基づき、その総合成績によって単位を認定する。</p> <p>[単位および修了の認定]</p> <p>第16条 1. 単位の認定</p> <p>(1) 教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科目について定期試験を行い、合格者に対して当該学科目を認定する。ただし、実技については、出席状況、課題の達成度合い等に基づき、その総合成績によって単位を認定する。また実習については、学生が個々に実習期間中記入する実習の記録、学内担当者の調査、実習指導者の評価報告書に基づき、その総合成績によって単位を認定する。</p> <p>2. 修了の認定 各専門課程で定められた科目及び単位を履修したと認めた学生について修了を認定する。</p> <p>3. 他の専修学校授業科目の履修等、専修学校以外の教育施設における学修ならびに入学前の授業科目の履修等 他の専修学校、大学、短期大学等において履修した科目のうち、本校が適当と認めるものについて、各課程の修了に必要な総授業時間数の2分の1を越えない範囲で当該課程における授業科目としてみなすことができる。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学年ごとに修了すべき学科目について定期試験を行い、合格者に対して当該学科目を認定する。ただし、実技については、出席状況、課題の達成度合い等に基づき、その総合成績によって単位を認定する。また実習については、学生が個々に実習期間中記入する実習の記録、学内担当者の調査、実習指導者の評価報告書に基づき、その総合成績によって単位を認定する。</p> <p>成績評価は100～90点をA、89～80点をB+、79～70点をB、69～60点をCとし、以上を合格と認定し、59点以下(F評価)は不合格とする。</p> <p>各学生についての成績分布状況は、各科目の成績を既定の数値に置き換え、A:4点、B+:3点、B:2点、C:1点、F:0点に換算し、評価点の合計を科目数で除して算出することで把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業は、各学科における所定の単位を履修した者に対して教職員による会議を経て、校長が認定する。</p> <p>学生は規定の年限で卒業できるように最大限努力しなければならない。</p> <p>単位等が未修得の場合には、卒業延期の措置を講ずる。また、学費が完納されない場合には、卒業保留、または除籍となる。</p> <p>本項目については、学則の他に学生に対して配布している「学生心得」に記載されている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京福祉保育専門学校
設置者名	学校法人サンシャイン学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	東京福祉保育専門学校本校舎事務所にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	東京福祉保育専門学校本校舎事務所にて閲覧可能
財産目録	東京福祉保育専門学校本校舎事務所にて閲覧可能
事業報告書	東京福祉保育専門学校本校舎事務所にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	東京福祉保育専門学校本校舎事務所にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門	こども学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,220 単位時間/単位	840 単位時間/単位	990 単位時間/単位	360 単位時間/単位	30 単位時間/単位	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		31人	0人	7人	8人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 「卒業まで見放さない」ことを前提に、すべての学生が確実に卒業できるよう、担任が全力でサポートします。クラス担任制により、必要に応じて密に連絡を取れる体制をとっており、学生に親身になって対応しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	1人 (9.1%)	8人 (72.7%)	2人 (18.2%)
(主な就職、業界等) 幼稚園、保育園、認定こども園、児童養護施設、障害者施設、公務員など			
(就職指導内容) 学生一人ひとりにベテランの就職支援担当の職員がつき、全員が自分にあった適職を見出し、希望に沿った就職ができるまで、徹底した就職支援を行っています。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、認定ベビーシッター、全国手話検定、レクリエーションインストラクターなど			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	1人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席を早期に把握し個別に面談等を行う。必要に応じて保護者にも連絡する。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門	経営福祉学科 I	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	660 単位時間/単位	1,080 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	77人	77人	8人	7人	15人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 「卒業まで見放さない」ことを前提に、すべての学生が確実に卒業できるよう、担任が全力でサポートします。クラス担任制により、必要に応じて密に連絡を取れる体制をとっており、学生に親身になって対応しています。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	1人 (4.4%)	17人 (73.9%)	5人 (21.7%)
(主な就職、業界等) 社会福祉関連企業、大学院進学など			
(就職指導内容) 学生一人ひとりにベテランの就職支援担当の職員がつき、全員が自分にあった適職を見出し、希望に沿った就職ができるまで、徹底した就職支援を行っています。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 社会福祉主事など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	8 人	11.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、在留資格更新不許可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、保護者面談、留学生に対して生活指導、修学資金貸与、 給与制度の紹介導入		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		外語ビジネス 専門	国際 IT 学科 I	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	1,380 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		67人	67人	4人	8人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 日本国内の企業に就職、または大学への進学を目指し、学生一人一人に親身なサポート体制で支援します。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	14人 (58.3%)	10人 (41.7%)
(主な就職、業界等) IT関係、派遣業			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書の書き方指導など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験、C言語プログラミング能力認定試験、Javaプログラミング能力認定試験、パソコンスピード認定試験、情報処理技能検定試験 (表計算) など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69 人	8 人	11.6%
(中途退学の主な理由) 他校進学、在留資格変更、本国帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		外語ビジネス 専門	国際ビジネス学科 I	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	1,410 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
450人	445人	445人	10人	21人	31人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 日本国内の企業に就職、または大学への進学を目指し、学生一人一人に親身なサポート体制で支援します。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
156人 (100%)	1人 (0.7%)	96人 (61.5%)	59人 (37.8%)
(主な就職、業界等) 飲食関係、ホテル業、派遣業			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書の書き方指導など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験、簿記能力検定試験など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
454 人	58 人	12.8%
(中途退学の主な理由) 他校進学、在留資格変更、本国帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・ 社会福祉	社会福祉専門	介護福祉士学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,122 単位時間/単位	810 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	472 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	120人	113人	6人	11人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 「卒業まで見放さない」ことを前提に、すべての学生が確実に卒業できるよう、担任が全力でサポートします。クラス担任制により、必要に応じて密に連絡を取れる体制をとっており、学生に親身になって対応しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	19人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 介護老人福祉施設、有料老人ホーム、介護事業所、介護保険施設、障害者施設など			
（就職指導内容） 学生一人ひとりにベテランの就職支援担当の職員がつき、全員が自分にあった適職を見出し、希望に沿った就職ができるまで、徹底した就職支援を行っています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士（受験資格）、レクリエーション・インストラクターなど			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	18 人	15.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、在留資格更新不許可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、保護者面談、留学生に対して生活指導、修学資金貸与、 給与制度の紹介導入		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	社会福祉専門	経営福祉学科Ⅱ	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	660 単位時間/単位	1,080 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	74人	74人	8人	7人	15人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 「卒業まで見放さない」ことを前提に、すべての学生が確実に卒業できるよう、担任が全力でサポートします。クラス担任制により、必要に応じて密に連絡を取れる体制をとっており、学生に親身になって対応しています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	2人 (8.3%)	13人 (54.2%)	9人 (37.5%)
（主な就職、業界等） 社会福祉関連企業、大学院進学など			
（就職指導内容） 学生一人ひとりにベテランの就職支援担当の職員がつき、全員が自分にあった適職を見出し、希望に沿った就職ができるまで、徹底した就職支援を行っています。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 大学卒業資格（社会福祉学）など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	8 人	11.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、在留資格更新不許可		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、保護者面談、留学生に対して生活指導、修学貸金貸与、 給与制度の紹介導入		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		外語ビジネス 専門	国際 IT 学科 II	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	1,380 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		64人	64人	4人	8人	12人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 日本国内の企業に就職、または大学への進学を目指し、学生一人一人に親身な差 パート体制で支援します。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	1人 (5%)	11人 (55%)	8人 (40%)
(主な就職、業界等) IT関係、派遣業			
(就職指導内容) ビジネスマナー、履歴書の書き方指導など			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 日本語能力試験、C言語プログラミング能力認定試験、Javaプログラミング能力認定 試験、パソコンスピード認定試験、情報処理技能検定試験 (表計算) など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	2 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 他校進学、在留資格変更、本国帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		外語ビジネス 専門	国際ビジネス学科Ⅱ	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,740 単位時間/単位	1,410 単位時間 /単位	330 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
370人		389人	389人	10人	21人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 日本国内の企業に就職、または大学への進学を目指し、学生一人一人に親身なサポート体制で支援します。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
74人 (100%)	3人 (4.1%)	51人 (68.9%)	20人 (27.0%)
（主な就職、業界等） 飲食関係、ホテル業、派遣業			
（就職指導内容） ビジネスマナー、履歴書の書き方指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日本語能力試験、簿記能力検定試験など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
303 人	22 人	7.3%
(中途退学の主な理由) 他校進学、在留資格変更、本国帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども学科	100,000 円	650,000 円	245,000 円	実習費、施設維持費、諸費用
経営福祉学科 I	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
国際 IT 学科 I	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
国際ビジネス学科 I	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
介護福祉士学科	100,000 円	755,000 円	315,000 円	実習費、施設維持費、諸費用
経営福祉学科 II	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
国際 IT 学科 II	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
国際ビジネス学科 II	100,000 円	650,000 円	145,000 円	施設維持費、諸費用
修学支援 (任意記載事項)				
別途、学科により一括納入 3 万円割引や奨学金の規定あり。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校の教育目標・計画に沿った取組の達成状況、学校運営等への取組が適切に実施されたかどうか、学校が設定した評価項目ごとに達成及び取組み状況の評価し、問題点・改善点及び今後の方策を示すことで、教育活動・学校運営の質の向上を目指す 自己評価の結果を、本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会は、教職員の意見聴取及び学校施設の視察を通して評価する。 学校関係者評価委員は、関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有するもの、その他校長が必要と認めるものから構成する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校法人小池学園	2020/5/11～2023/5/10	教育関連企業関係者
FORCE 株式会社	2020/5/11～2023/5/10	地域企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 東京福祉保育専門学校本校舎事務室にあるファイルにて求めに応じて公表している。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sunshine.ac.jp/
--